

4 配偶関係

(1) 配偶関係別割合

～ 男性を大きく上回る女性の死別率・離別率 ～

15歳以上人口を配偶関係別にみると、有配偶者は男性92,064人、女性は93,195人で15歳以上に占める割合（有配偶率）は、それぞれ65.2%、56.0%となっている。実数では、女性の方が男性に比べ1,131人多くなっている。この差は男性の単身赴任が多いこと、調査の定義上「婚姻届の有無に関わらず、実際の状態によって記入する」ことなどのためと考えられる。しかし、有配偶率は、分母となる男性の15歳以上人口が少ないため、女性よりも男性の方が9.2ポイント高くなっている。

未婚者の割合（未婚率）は、男性26.4%に対して、女性21.4%で、5.0ポイント男性の方が高くなっている。

死別者の割合（死別率）は、男性3.3%に対して女性14.1%で女性の方が10.8ポイント高くなっている。この差は、夫婦の年齢差、女性の平均余命が男性よりも長いなどの理由によるものと考えられる。

離別者の割合（離別率）は、最近の離婚件数の増加を反映して男性4.2%、女性7.7%と5年前に比べ男性で1,050人（21.5%）、女性で2,177人（20.6%）と増加している。（表4-1）

図4-1 15歳以上人口の男女別・配偶関係

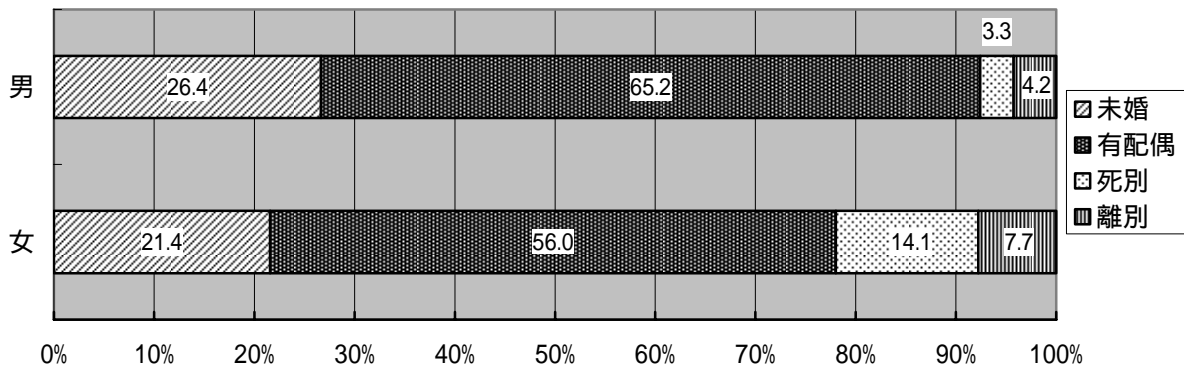


表4-1 15歳以上人口の男女別・配偶関係

単位：人，%

配偶関係	15歳以上人口		配偶関係別割合 (%)		平成12年~平成17年の増減	
	平成12年	平成17年	平成12年	平成17年	増減数	増減率 (%)
男	144,402	141,269	100.0	100.0	3,133	2.2
未婚	39,080	37,286	27.1	26.4	1,794	4.6
有配偶	95,133	92,064	65.9	65.2	3,069	3.2
死別	3,989	4,623	2.8	3.3	634	15.9
離別	4,888	5,938	3.4	4.2	1,050	21.5
女	166,281	166,372	100.0	100.0	91	0.1
未婚	37,775	35,666	22.7	21.4	2,109	5.6
有配偶	95,594	93,195	57.5	56.0	2,399	2.5
死別	21,101	23,509	12.7	14.1	2,408	11.4
離別	10,586	12,763	6.4	7.7	2,177	20.6

注) 男・女それぞれの総数は、配偶関係「不詳」を含む。

(2) 年齢階級別配偶関係

～ 女性の30歳から34歳の未婚率は34.0% ～

男女・年齢階級別に未婚率をみると、男女とも年齢が高くなるに従って低下しているが、30歳から34歳の階級をみると平成2年から平成17年の推移は男性が24.8%から42.2%、女性が16.3%から34.0%へと上昇している。

未婚率を年齢階級別にみると、若い年齢層での上昇が認められる。特に女性は、高等教育機関への進学率の向上、就業機会が増え経済的自立が可能になったことなどにより、結婚年齢が高くなる傾向にあり、未婚率上昇に起因していると思われる。

なお、25～29歳の女性の未婚率は平成2年42.0%、平成12年54.0%、平成17年55.4%と上昇し、30～34歳も同様に平成2年16.3%、平成12年29.1%、平成17年34.0%へと上昇している。(表4-2)

～ 男性の25歳以上で有配偶率がすべて低下 ～

若い年齢階級における有配偶率は、未婚率が男女とも上昇していることから、いずれも低下している。

有配偶率を15年前の平成2年と比較すると、特に上昇したのは女性の65歳以上の年齢階級である。これは「未婚率の上昇」と後段で示す「離別率の上昇」がこの結果の大きな要因になっていると考えられる。(表4-2)

～ 高齢者の死別率は低下、離別率は上昇 ～

近年における平均余命の伸びを反映して、高齢者層での死別率はこの15年間で低下していることがわかる。例えば、生産年齢人口の上限年齢階級に当たる60～64歳の男性で妻に先立たれた者の割合は平成2年3.6%だったのに対し、平成17年には3.3%に低下している。65歳以上の高齢男性の死別率についても、平成2年12.4%であったが、平成17年には10.9%と低下しており、男性高齢者の9割近くが妻を伴って生活している。

一方、離別率は平成2年以降上昇傾向にあり、この15年間で男性1.9ポイント、女性3.0ポイント上昇し、離婚件数の増大がうかがえる。

また、平成17年における離別率の最も高いのは、男性では50～54歳の7.2%、女性では40～44歳の12.4%となっている。(表4-2)

図4-2 男女・年齢別配偶関係割合

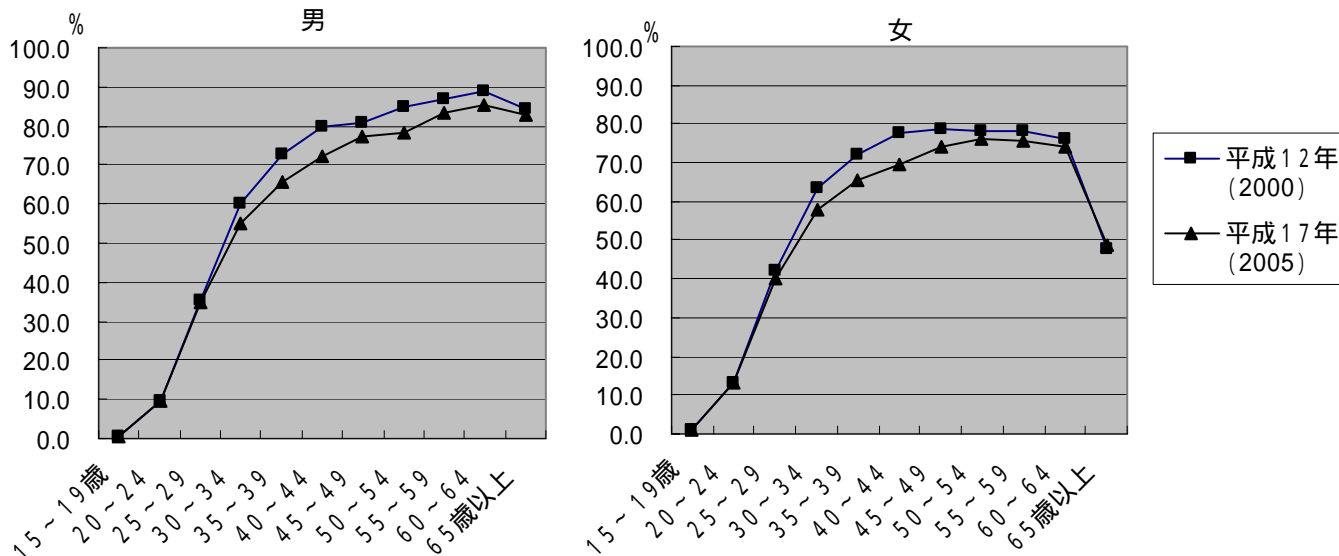


表4 - 2 年齢・男女別にみた15歳以上人口の配偶関係割合の推移

単位：％

男女 年齢	未婚			有配偶			死別			離別		
	平成 2年 (1990)	平成 12年 (2000)	平成 17年 (2005)	平成 2年 (1990)	平成 12年 (2000)	平成 17年 (2005)	平成 2年 (1990)	平成 12年 (2000)	平成 17年 (2005)	平成 2年 (1990)	平成 12年 (2000)	平成 17年 (2005)
男	26.1	27.1	26.4	68.6	65.9	65.2	2.3	2.8	3.3	2.3	3.4	4.2
15-19歳	98.3	99.4	99.7	0.3	0.5	0.3					0.0	0.0
20-24	89.4	90.3	90.0	8.6	9.4	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4
25-29	55.2	63.1	63.8	42.9	35.5	34.6	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	1.5
30-34	24.8	36.9	42.2	72.7	60.2	54.8	0.1	0.1	0.1	1.7	2.8	2.8
35-39	13.4	22.2	28.3	83.4	72.6	65.7	0.2	0.1	0.2	2.6	3.5	4.2
40-44	6.9	14.5	19.8	88.4	79.6	72.3	0.4	0.4	0.2	3.9	4.2	6.2
45-49	4.1	11.6	14.9	90.6	80.7	77.3	0.9	0.9	0.6	4.1	5.3	5.9
50-54	2.6	6.6	11.6	92.0	85.0	78.5	1.3	1.2	1.4	3.9	6.0	7.2
55-59	1.7	3.9	6.7	92.3	86.7	83.3	2.3	2.1	1.9	3.3	6.1	6.8
60-64	1.2	2.4	3.7	92.1	88.7	85.3	3.6	3.3	3.3	2.8	4.5	6.4
65歳以上	0.6	1.1	1.5	84.8	84.4	83.0	12.4	10.5	10.9	1.8	2.7	3.4
女	22.6	22.7	21.4	60.8	57.5	56.0	11.2	12.7	14.1	4.7	6.4	7.7
15-19歳	97.8	99.0	99.0	0.8	1.0	0.9				0.0	0.1	0.1
20-24	83.5	85.7	85.3	14.5	13.2	13.3	0.0	0.1	0.0	0.6	1.0	1.3
25-29	42.0	54.0	55.4	54.8	42.2	40.3	0.1	0.1	0.1	2.4	3.6	4.1
30-34	16.3	29.1	34.0	78.3	63.5	58.0	0.5	0.3	0.3	4.5	7.0	7.5
35-39	8.5	17.7	21.8	83.2	71.9	65.5	0.9	0.8	0.5	7.2	8.8	11.2
40-44	5.7	10.9	16.0	83.3	77.5	69.3	2.1	1.2	1.4	8.6	9.8	12.4
45-49	4.3	7.4	10.5	83.6	78.8	74.1	3.8	2.6	2.3	7.9	10.5	12.2
50-54	2.9	5.3	7.1	83.2	78.3	76.1	6.6	4.4	3.9	6.9	11.1	12.0
55-59	2.6	4.1	5.2	80.1	78.0	75.6	11.1	8.2	6.9	5.7	8.8	11.4
60-64	2.4	2.8	4.0	74.7	76.3	74.1	17.7	13.6	11.9	4.7	6.5	9.1
65歳以上	1.2	2.0	2.1	42.6	47.5	48.6	52.1	45.0	43.5	2.9	4.0	4.8

図4 - 3 男女別離別者の割合

